

## VINEYARD DATA

畑の見学

- 主な栽培品種：デラウェア、スチューベン、バッファロー、ポードランド、キャンベル、旅路、ノースレッド他
- 生産本数：450本(2022年)
- 栽培面積：2ha ●ファーストヴィンテージ：2017年
- ラインナップ：Soupir de dame/750ml  
REMEMBER HILL/750ml
- 購入方法：観光農園か、電話で問い合わせ

### 地崎観光農園

- ☎ 北海道岩見沢市毛陽町430
- 📅 9月中旬～11月中旬  
10:00～15:00頃
- ☎ 01267-47-3409

まるで藤棚のようなブドウは  
圧巻！



<REMEMBER HILL/750ml>



## VINEYARD DATA

畑の見学

- 主な栽培品種：ピノ・ノワール、シャルドネ、ピノ・グリ、シラー、ケヴェルツトラミネール
- 生産本数：4,000～5,000本/年 ※年により異なります
- 栽培面積：3.5ha ●ファーストヴィンテージ：2015年
- ラインナップ：ヴィーニュー・シャンタント・プリズム/750ml  
ヴィーニュー・シャンタント・アントル・シヤン・エール/750ml  
ヴィーニュー・シャンタント・ヴォロンテ/750ml
- 購入方法：HPよりご確認ください  
※見学について、畑、醸造の繁忙期は不可

### 宮本ヴィンヤード

- ☎ 北海道三笠市川内(達布地区)
- ☎ 要問合せ
- ✉ ryo@miyamoto-vineyard.com
- 🌐 <http://miyamoto-vineyard.com/>



奥様の杏理さんと

<ヴィーニュー・シャンタント・ヴォロンテ/750ml>



## VINEYARD DATA

畑の見学

- 主な栽培品種：ピノ・ノワール、シャルドネ、バカス、ソーヴィニヨンブラン、アルモノワール 他
- 生産本数：5,500本(2021年)
- 栽培面積：2.7ha ●ファーストヴィンテージ：2018年
- ラインナップ：Pino Noir, Chardonnay, Sauvignon Blanc
- 購入方法：直接販売なし、ワインショップなど店舗にて販売  
※畑の見学は事前にお問い合わせを

### 濱田ヴィンヤード

- ☎ ・ブドウ畑(圃場)/  
北海道三笠市達布789-1  
・本社/北海道三笠市高見町444-40
- ☎ 090-8370-9467
- ✉ info@hamadavineyard.com
- 🌐 <https://hamadavineyard.com>



長男の玲央さんとともに

<Bacchus/750ml>



## 地崎観光農園

Chizaki Tourist Farm

100年以上前、曾祖父が北海道岩見沢市毛陽町に入植して以来、代々農業を受け継いできた地崎観光農園。地崎英樹さんは農家として3代目になります。お米や果樹の生産を続ける中、形や完熟の具合や糖度によって商品として出せないブドウをなんとか有効活用できないかと思いついたのがワインづくりでした。2017年から2年間、宝水ワイナリーに醸造を委託し、2022年のブドウはTAKI ZAWA WINEERYで醸造、スパークリングワインに初挑戦しました。次のリリースは2025年の予定。「誰でも飲みやすいように、香りが豊かで甘めのワインを、みんなに飲んでもらえる分だけ無理をしないでつくってほしい」と話します。いかに美味しいブドウを作っているかに使いたくすかを考える地崎さんからは、農産物への愛情がそこはかとなく伝わってきます。

## 宮本ヴィンヤード

Miyamoto Vineyard

宮本亮平さんが、ワインと出会ったのは20歳の頃。一度は調理師の世界に進んだものの、ワイン造りへの情熱は消えることなく、海外のワイン産地を渡り歩く中で、「いつかピノ・ノワールで自分のワインを」という想いは益々強くなりました。遠い昔は海だった北海道三笠市達布地区は、海岸線が隆起してできたブルゴーニュの地形を思わせるほか、気候が理想とするブドウ栽培に適しているということで、2012年春にこの地でブドウ栽培を始めました。「同じ品種を栽培しても、土地の個性や気候により、味が違いが生まれます。ブドウの樹の声を聴き、ブドウが自らなりたいたいワインになる手助けをするのが私の仕事です」とワイン造りへの想いを語ります。

## 濱田ヴィンヤード

Hamada Vineyard

濱田洋文さんは、以前は医師としてがんの治療薬を研究していましたが、その治療薬が世界的な大手製薬会社により実用化され、医学の世界で一定の成果を挙げたことから、「第二の人生としてワイン造りを」と思い、2015年に醸造用ブドウ農家として北海道三笠市達布で就農しました。2016年春には、バカスやシャルドネなど1,250本の苗木を植えました。2018年秋に初収穫を迎え、TAKI ZAWA WINEERYに醸造を委託し、2019年秋に初ヴィンテージをリリースしています。「約40年間、科学者として実績をあげてきたので、科学的なものの見方で、ワイン造りにも取り組み、失敗も含め、自分の知見が後進の参考になればよい」とワイン造りへの覚悟を語ります。「ちょっとしたハレの日に飲む上質なワイン」を目指して、濱田さんの挑戦は始まったところです。